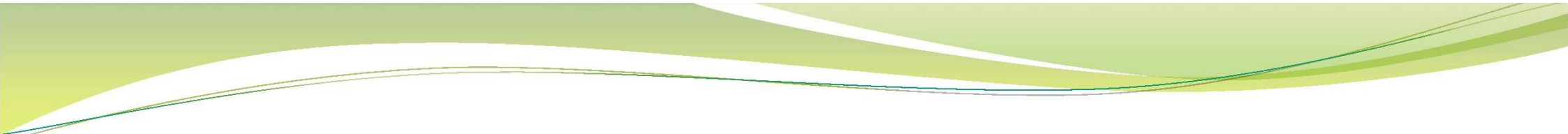


男女共同参画の視点からの 自治会運営ガイドライン（概略版）

内閣府男女共同参画局

- 
- はじめに
 - 自治会の現状・課題及び自治会を取り巻く社会環境の変化
 - 基本的な視点
 - 取組のステップ：自治会における取組について
 - 取組のステップ：行政（市区町村等）における支援について
 - 終わりに ～参加型ワークショップの展開について～

はじめに

【これまでの地域活動の担い手】

- 専業主婦を始めとする女性が多くを担ってきた。
- P T A や自治会・町内会の会長等の役職は、その多くを自営業や退職男性が占めてきた。

【持続可能な地域社会構築の課題】

- 若い世代の男性等多様な住民の活動への参画。
- リーダーとしての女性の参画を拡大し、地域活動における男女共同参画を推進すること。

「第4次男女共同参画基本計画（平成27年12月）」
自治会長に占める女性の割合についての成果目標



10%（平成32年）

地域活動における男女共同参画の推進に関する実践的調査研究事業（平成28～29年度）

《平成28年度事業》

1. 有識者検討会議
2. 全市区町村アンケート調査
3. 全国6県域自治会長等ヒアリング調査

【施策の方向性（提言）】

「自治会活動の中枢を占める人材層に対する研修の実施」等



《平成29年度事業》

1. 有識者検討会議
2. 統計データ分析（地域特性と女性自治会長比率の関連性等）
3. 全国3地域（宝塚市、廿日市市、仙台市）における参加型ワークショップの開催

【取組のための具体的な提案】

「男女共同参画の視点からの自治会運営ガイドライン」

I 自治会の現状・課題及び自治会を取り巻く社会環境の変化

地域社会における 人口構造変化

- 人口減少、高齢化、過疎化等（⇒**地域社会の担い手不足**）

地域住民の ライフスタイル変化等

- 産業構造・就業状況の変化、生活行動・生活時間の変化等（⇒**価値観・住民意識の変化**）

II 基本的な視点

多様な住民の自治会活動への参画を促す

- 活動に参加するハードルを下げる
- 多様な住民の声を把握し、反映させる
- 民主的な会議運営（合意形成過程での配慮）

性別や年齢等により役割を固定化しない

業務負担軽減の観点から
自治会業務を見直す

見える化

- 自治会運営業務の見える化（マニュアル化）
- 自治会を取り巻く社会環境の見える化（定量的な把握）

一人で抱え込まず、みんなで
支え合う（分担する）

Ⅲ 取組のステップ (自治会における取組①)

地域の実態と将来像 を定量的に把握する

- 地域の男女別・年齢別人口の現在、5年後、10年後等のデータを整理する。
- 自治会の近い将来を想定した自治会組織図を描いてみる。等

幅広い住民と問題意識を共有し課題を抽出する

- 全住民アンケートの実施、子ども・若者・高齢者などから意見を出してもらう座談会やサロン等の開催。
- 収集した意見や情報を地域全住民で共有し、課題を検討。等

組織及び活動内容を 実態に合った無理のないものに見直す

- 部会等が多すぎるようであれば、整理、見直しを行う。
- 事業・イベント等の実施について、その優先度に応じ仕分けしてみる。等

(自治会における取組② ※前頁つづき)

多様な主体の連携により人材を確保、育成する

- 子ども・子育て関係団体、市民活動団体、自営業等多様な団体や人材と連携しながら人材を発掘。
- 女性会員を「部会長→役員→副会長→会長」のように10年がかりで育成。等



域外との連携、交流により取組を推進する

- 複数の自治会が一堂に会した活動事例発表会の開催。
- 女性自治会リーダーやリーダー候補のネットワークに参加して、孤独感の軽減、スキル向上。等

Ⅲ 取組のステップ

(行政における支援①)

地域の実態及び将来像を定量的に把握するためのデータ提供

- 各種地域人口統計データ等の提供、分析方法等についての相談対応。
- 市区町村の財政状況や直面する課題、自治会運営に関わる制度について情報提供を行う。等

自治会と行政の連携による地域運営についての理解及び協力要請

- 当該地域に赴き、啓発を行う担当職員を配置し、信頼関係の醸成に努める。
- 出前講座等の開催により、自治会役員に限定せず、地域の多様な住民層に支援を行う。等

地域課題についての住民意識・ニーズ把握と地域へのフィードバック

- 女性、若者、子ども等多様な住民を対象としたワークショップやサロン等を通じ住民ニーズを収集。
- 住民から収集した問題意識をアンケート等により共有情報として提示。等

(行政における支援② ※前頁つづき)

自治会の負担軽減に向けた業務、組織の見直し支援

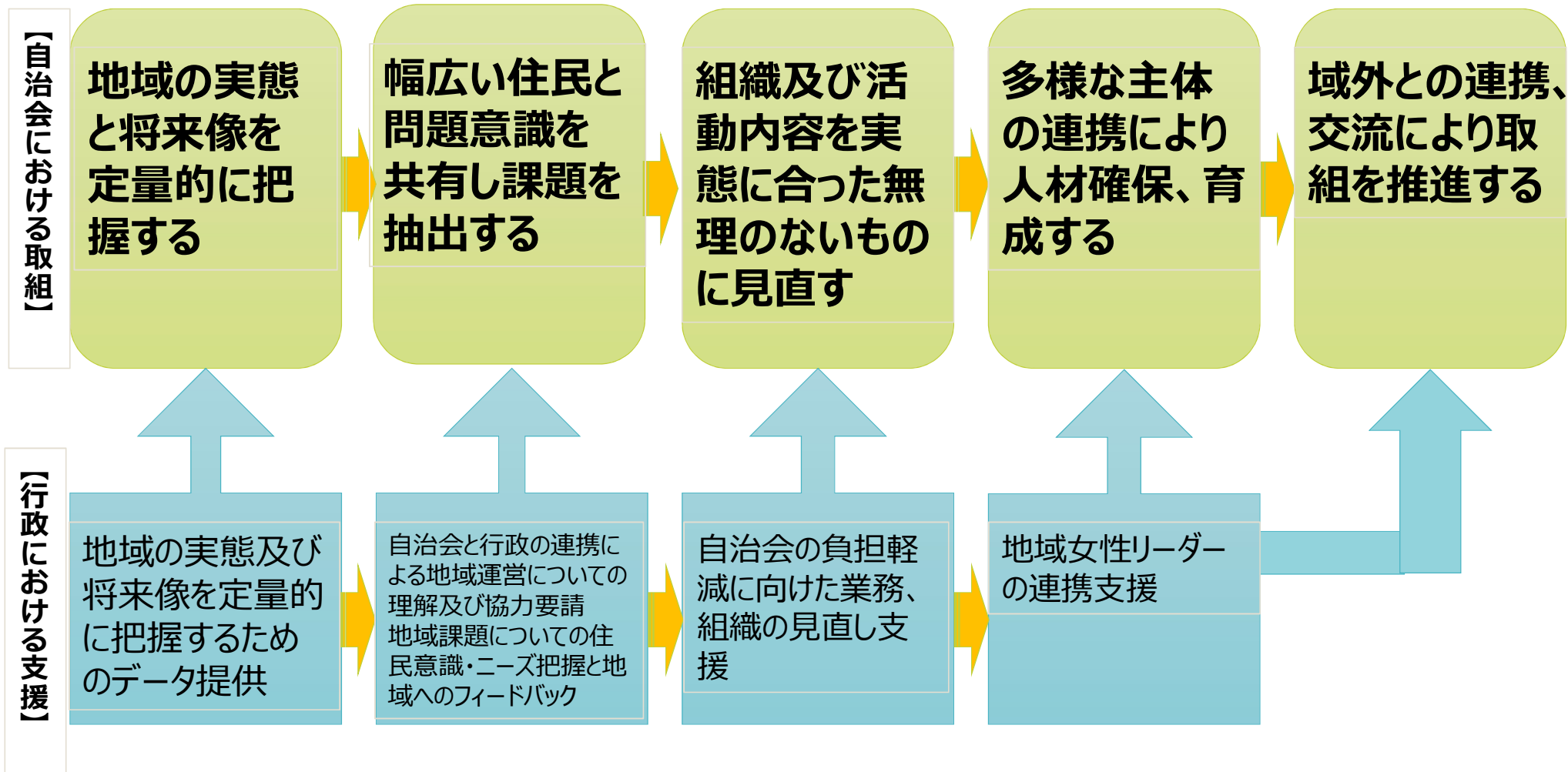
- 行政から自治会への依頼業務の整理、見直しにより自治会の負担感を軽減。
- 自治会組織、規約の見直し等の事務に関する情報提供、相談対応。等



地域女性リーダーの連携支援

- 女性自治会長・役員・役員候補の交流、情報交換、事例発表等、女性たちの不安感、孤立感を軽減するような場づくり。
- 女性会長・役員を応援する男性自治会長及びOBの情報交換の場づくり。等

Ⅲ 取組のステップ^o（自治会における取組ステップに合わせた支援）



終わりに

～参加型ワークショップの展開について～

- 本年度事業において3地域（兵庫県宝塚市、広島県廿日市市、宮城県仙台市）で実施したワークショップは、参加した自治会関係者及び行政関係者より、「市内及び近隣市における多様な取組事例や人物との交流、情報交換が率直な形で行えた。」として好評。
- 今後に向けて、地域運営、まちづくりにおける女性住民たちの率直な思いを受け止め、これからの地域における女性リーダー誕生を支援する「フォーラム（ワークショップ）」等を各地で巡回開催することも有効と考えられる。